The WHEEL!

Performance Machine
Disc Brakes & W

ストリート・ドラッグ御用達アメリカンホイール

軽量と同時にデザインでもアピールできるのがPMホイール最大の特徴。各モデルとも肉薄タイプの「レーシング」と強度を上げた「ストリート」を用意。経年変化に非常に強いというのもメリットだ。

極太デザインで現在も高い人気を誇るシケイン

4輪系などではおなじみのフィンタイプデザインを持つコブラ。いかにもUSA的

ビアスボルトと削り出し加工を施したツイン3本スポークが印象的なバイパー

サイクロンは6本スポークを放射状に配置する

リヤホイールに使われることの多いソリッド（写真左）と形状がユニークなファントム（同左）

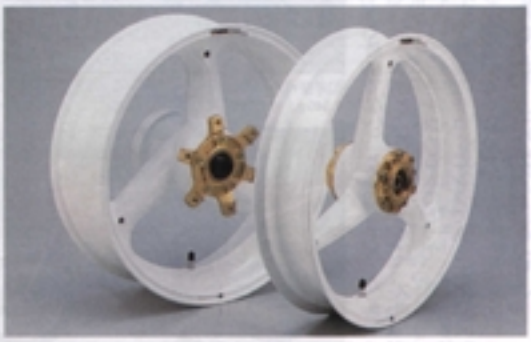
マシーン（以下PM）製ブレーキキャリパーやモーリス、インベーダーなど各社ホイールを取り扱ってきた、アメリカのPM社。現在のホイールラインナップは6061鍛造アルミ材からの削り出しによるビレットホイール（ハイファイブ、バイパー、ヴィルライン、セビルなど全13種類）と、6061-T4アルミ平板をヘラ絞り後に一体化するスパンホイール（表／裏のディスク部分とリムを溶接後に加工成形。シケイン、コブラ、サイクロン、ソリッド、エッジ、エアロ、フォースの全7種類）というふたつに大きく分けられる。

日本国内では「ミッチェル」と呼ばれた時期もあったが、これはPM社が切削加工を施す前のソリッドディスクを、ミッチェル社から仕入れていたことと関係があるようだ。ただし、ミッチェル社はオフロードやにラインナップしたメーカーで、アメリカではオフ用ホイールとしての「ミッチェル」が一般的（逆にH-D用やロードモデル用は以前からPMと呼ばれていた。その後ミッチェル社は買収により消滅）。

アルミ削り出しホイールをラインナップに加えたのは、'94年。日本ではアメリカンテイストのカスタムなどに好んで用いられ、「シケイン」が安定した人気を博している。国内ではトレーディングガレージ中川とケインズが販売。ハブダンパーキットやアルマイト加工なども注文可能だ。

TWM SPECIAL COMPONENTS

マルケジーニのアルミ鋳造版ブランド



対応車種は各社ジャイキンドやGPZ-R、GSX-R-100系など、すべてJIS製用スプロケット付き

TWMはマルケジーニ一族が持つイタリアのブランドだ。

「マルケジーニはレース用を基本とした高性能マグホイールで、そこまでは必要ない、手が届かないというユーザー向けに企画されたんです。重量はマグには届きませんが、STDよりもかなり軽いですよ」

とマルケジーニ関連製品を扱うホイール・テクノロジーの石原康文さん。TYPE-RAはストリート用アルミ鋳造ホイールで、新型になってさらに軽量化。基本的なデザインはマルケジーニ・マグ3本スポーク＝3Rそのもの。さらに最新モデルと同じ、折り返しリブ付きリム、スプロケットハブの複列アンギュラボールベアリング、薄型大容量ハブダンパーとさすがのクオリティ。そして前後で15万円という価格が最大の魅力だ。

BEET JAPA

強度、耐久性に配慮したアルミホイール

販売を開始した、軽量ホイールキットだ。材質はSTD同様の鋳造アルミだが、慣性モーメントに大きな影響を与えるリム、ハブなどを軽量化。ZZ-R1100用を例に取ると、STDが前6・1kg、後10・8kgなのに対して、ビート製は前5kg、後8・3kgに抑えられている（ダンパー、カップリングを含んでの重量）。それでいながら全体の強度はSTD並みに保たれているのだ。

また、耐久性に優れるダンパーとカップリングも付属させることで、駆動系からのショックも低減。ストリートユースを重視した設計は、リーズナブルな価格設定とともに、ユーザーにとっては嬉しいところだ。

●トレーディングガレージナカガワ ☎0545・71・3032 http://www.tokai.or.jp/tg-nakagawa/ ●ケインズ ☎092・327・3502
●協力＝クラスフォーエンジニアリング ☎044・989・4740 ●日本ビート工業 ☎072・257・7600 〒591-8014大阪府堺市八下北3-53
●ホイールテクノロジー ☎0561・52・4500 〒488-003愛知県高浜市